

各報道機関文教担当記者 殿

土木学会水工学委員会と金沢大学が連携 令和6年能登半島地震・豪雨災害調査報告会

金沢大学は、土木学会水工学委員会のもとで発足した「令和6年能登半島地震・豪雨災害 河川・流域調査団」による災害調査報告会の共催大学として、理工研究域地球社会基盤学系の谷口健司教授(調査団 団長)および人間社会研究域地域創造学系の坂本貴啓講師(調査団 幹事)が発表を行います。

令和6年1月に発生した能登半島地震および、令和6年9月に発生した能登半島豪雨により発生した土砂災害や洪水災害について、金沢大学は本調査団の幹事大学として、土木学会水工学委員会と連携して研究活動のとりまとめを行ってきました。

今回、土木学会水工学委員会主催の報告会に金沢大学が共催し、調査団による災害調査報告及び総合討議を行います。大規模地震発生時の河川や流域への影響や、地震に伴う土砂災害後に発生した豪雨による洪水災害の様子およびその発生メカニズムについて考えます。

ついては、事前の告知および当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

記

令和6年能登半島地震・豪雨災害調査報告会

主催：土木学会水工学委員会 共催：金沢大学

日時：令和7年3月26日(水) 13:00～16:30

会場：金沢商工会議所(石川県金沢市尾山町9-13)

定員：対面：先着80名、オンライン500名

対象：一般

詳細：別添チラシをご参照ください

以上

【本件照会先】

人間社会研究域地域創造学系 講師

坂本 貴啓(さかもと たかあき)

TEL: 076-264-5334

E-mail: t-sakamoto@staff.kanazawa-u.ac.jp

【広報担当】

金沢大学人間社会系事務部総務課総務担当

川上 菜月(かわかみ なつき)

TEL: 076-264-5450

E-mail: n-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和6年能登半島地震・豪雨災害調査報告会

日時 2025年3月26日（水）13時～16時30分（開場12:30）

会場 金沢商工会議所（石川県金沢市尾山町9-13）
及び オンライン（Zoomウェビナー）

定員 対面: 80名 オンライン: 500名

主催 土木学会水工学委員会

共催 金沢大学



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY



土木学会認定
CPD3.0単位

【プログラム】

13:00 開会

13:05 能登半島地震による河川・流域への影響

- ー輪島市で発生した土砂災害（京都大学防災研究所准教授 竹林洋史）
- ー能登半島地震による河川構造物の被災（金沢大学教授 谷口健司）
- ー富山沿岸域の避難状況の把握（富山県立大学准教授 久加朋子）
- ー七尾西湾に流入する能登半島地震由来の微細土砂の定性的評価（石川工業高等専門学校教授 大橋慶介）
- ー能登半島地震における七尾市の水道復旧過程の規定要因（金沢大学講師 坂本貴啓）

14:15～14:25 休憩

14:25 能登半島豪雨による災害

- ー令和6年9月21日から23日の降雨状況の分析（富山県立大学講師 吉見和紘）
- ー奥能登河川の全体の出水状況および若山川の氾濫状況について（富山県立大学教授 呉修一）
- ー町野川下流左岸の浸水・排水過程（島根大学准教授 佐藤裕和）
- ー数値シミュレーションに基づく地震起因の生産土砂が洪水氾濫に及ぼした影響の分析（京都大学防災研究所准教授 山野井一輝）
- ー塚田川氾濫時撮影動画の流速画像解析（東京理科大学助教 柏田仁）

15:35～15:45 休憩

15:45 総合討議

- パネリスト: 二瓶泰雄(東京理科大学教授) 竹林洋史(京都大学防災研究所准教授)
呉修一(富山県立大学教授) 久加朋子(富山県立大学准教授)
寺田勝一(金沢河川国道事務所副所長) 荒川裕亮(のと海洋ふれあいセンター)
- コーディネーター 谷口健司(金沢大学教授)

16:25 閉会

【参加申し込み】

参加は無料です。参加をご希望の方は土木学会ホームページより3月24日（月）までにお申し込み下さい（対面とZoomで申し込みフォームが異なります）。

対面参加: <https://www.jsce.or.jp/events/form/2324031>

オンライン参加: <https://www.jsce.or.jp/events/form/2324032>

【お問い合わせ】 金沢大学人間社会学域 地域創造学系 坂本貴啓

t-sakamoto@staff.kanazawa-u.ac.jp



河川基金

公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。